

地域の大学による公園ネーミングライツ(横浜市)

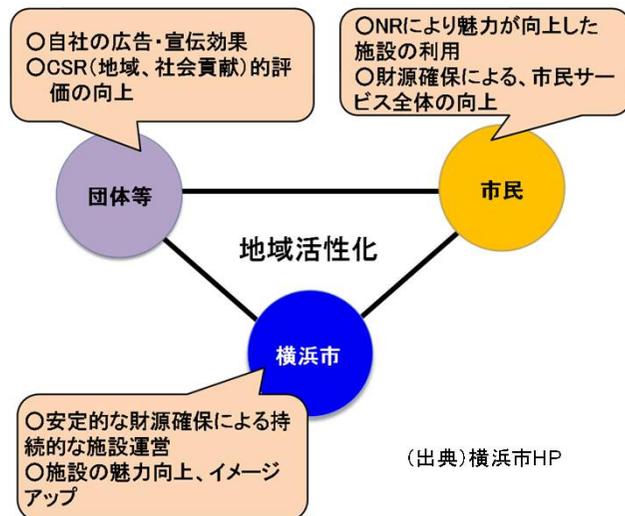
(1) 事業概要

横浜市では、安定的な財源確保により持続可能な施設の運営を行い、また民間の資金やノウハウ等を活用しながら施設の魅力を高めるため、ネーミングライツ導入を推進してきた。平成20年10月には、『ネーミングライツ導入に関するガイドライン』を定め、対象施設も含めて企業等から提案を頂く「提案募集型ネーミングライツ」<全国初>の手法を導入。その第1号として、平成20年10月20日から10月31日まで募集を行い、俣野公園野球場のネーミングライツの提案・実現した。

ガイドラインに基づき、「1.提案→2.審査→3.協議→4.関係者・市民意見聴取→5.協議→6.契約→7.ネーミングライツ開始」という流れで手続きが進められ、ドリームランド跡地に開学した横浜薬科大学をスポンサーに迎え、平成21年8月1日から、「俣野公園・横浜薬大スタジアム」となった。

(2) 効果

- ① 厳しい財政情勢の中、安定的な財源確保により持続可能な施設の運営に貢献
- ② 民間の資源やノウハウ等を活用することで、施設の魅力の向上や地域の活性化に貢献
- ③ 大学、企業等の地域貢献、CSR、イメージ向上
- ④ 地域貢献活動等による市民サービスの向上



(出典)横浜市HP

■事業の主な内容

(出典)横浜市HP

項目	内容
事業名	提案募集型ネーミングライツ(俣野公園野球場)
発注者(人口)	横浜市 (3,703,852:H25.12月現在)
対象施設	俣野公園野球場 横浜市戸塚区俣野町1367-1(俣野公園内) 野球場仕様(両翼99m、センター122m、内野クレイ、外野天然芝、内野スタンド3,000席、外野芝生スタンド2,000人)、付帯設備(スコアボード、放送設備、照明設備、室内練習場、会議室等)
事業内容	命名権および施設無償使用权(年10日間)、市広報紙等への新名称掲載等、「地域貢献」をキーワードとした各種取組みの実施(野球場の無償使用日を利用したイベントの実施・地域緑化活動・市民講座等)
事業方式	提案公募型ネーミングライツ
選定事業者	学校法人都築第一学園 横浜薬科大学 (所在地:横浜市戸塚区俣野町601、平成18年4月1日開学とともに薬学部(全学科6年制)開設)
事業期間	平成21年8月1日~平成31年7月31日(10年間)

■PFIによる財政負担額の削減効果 (単位:百万円)

項目	削減効果
ネーミングライツ金額	100(総額10年間合計)
VFM(%)	皆増